

中山道四十五次 中津川宿 「脇本陣森家」



江戸時代よりの上段の間（床の間・八畳の書院棚付）と御手洗所を移築復元されています。

一般公開

上段の間

土蔵を見学する

江戸時代の人々の暮らしを

知る恵み



猶々 中津川市中山道歴史資料館の見学をお勧めします。歴史と文化の香りをお楽しみ下さい。

中津川市本町

森長可/織田信長の家臣/の一族の後裔と伝えられています森家。上段の間は、一段高い床造りのお座敷で、当時は、身分の違いで床の高さが決められていました。土蔵は土造りの二階建、切妻（きりづま）屋根、江戸時代に普及した棧瓦葺（さん・かわら・ぶき）、外壁は大部分を海鼠壁仕上げも見どころです。